



2017 カン イイ男 IN ZAMA フォトコン結果発表



〈発行・編集〉
座間市男女共同参画推進委員会
座間市市民部広聴人権課
〒252-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘1-1-1
☎046(252)8087(直) FAX 046(252)0220

再生紙を使用しています。

あくしゅ

男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。
(男女共同参画社会基本法第2条)

ペンネーム 齊藤 幸子

タイトル 信頼

コメント 孫の爪切りはジージの役目。この日も自分の足の爪が伸びていて気になったのか、「ジージ爪切って」。2人の楽しそうな、心配そうな、真剣なひとときでした。



ペンネーム ありがとうさん

タイトル 週末家事男子

コメント 普段、牛肉をほとんど買わないのですが、お店の試食コーナーで美味しさを知ったカジ男の息子は、どうしても欲しくてお小遣いで買って、みんなに焼いてくれました。真剣です。夫が休みの日は、魚メインの夕食を夫が作りますが、この日は肉になり、夫は野菜担当でした。美味しかったです。

ペンネーム れな

タイトル おじいちゃん、のぼれたよ！

コメント 実家に帰るといつも子どもたちと遊んでくれていて、その時の写真です。最近、子どもたちがおじいちゃんの取り合いまでしています。

ペンネーム まいたけ

タイトル 幸せの重さ

コメント 弟0歳、年の差9歳兄弟を初めて両腕に抱っこしたイクパパ。

イクメン 育児を楽しむお父さん
イクジイ 育児を楽しむおじいちゃん
カジ男 家事に積極的に取り組む男性



最優秀賞受賞者のコメント

最優秀賞の知らせに、ビックリしました。近所に住む孫と主人のツーショット写真。爪が伸びると必ず「ジージ爪切って」と主人に頼むんです。小さい孫にも私と主人、どちらの方が慎重な性格か、分かるんですね。2人の間に信頼関係がなければ頼めない事です。いつも2人で嬉しそうに爪切りをしています。

※コメントは応募者からのコメントを掲載しています。

活動報告 平成29年度

6月17日(土) 『あくしゅフォーラム』の開催
市民文化会館(ハーモニーホール座間)小ホール
講演講演「こころ豊かに～女も男も自分らしく～」
講師 海原 純子氏(心療内科医)

6月23日(金)～29日(木) 『男女共同参画週間』
市民ホールの特設啓発ブースで、男女共同参画の意識や考え方についてのチラシと啓発物品を配布

6月21日(水) 『男女共同参画社会づくりに向けての全国会議』
東京国際フォーラムにて行われた、内閣府男女共同参画局主催の会議に出席

11月19日(日) 座間市民ふるさとまつりにて、男女共同参画に関する市民の皆さんへの意識啓発、イイ男フォトコン応募作品の掲示

平成30年3月10日(土) 委員研修
男女共同参画講演会(海老名市)に参加

平成30年3月15日(木) 情報紙「あくしゅ」の発行
企画・編集は平成29年夏ごろから随時

今年度のあくしゅフォーラムの講師は、心療内科医として全国で講演活動をする「こころ」、読売新聞「人生案内」回答者としても活躍されている、海原純子さんをお迎えし、「こころ豊かに～女も男も自分らしく～」をテーマにお話し頂きました。
講演では、ご自分の体験を交え、ストレスを上手に乗り切って自分らしく元気に生きる方法を伝授して頂きました。
まず、ストレスとは、心や体が影響を受けてしまうことであり、生活習慣病の引き金になり、免疫反応の低下が起き、病気になるやすいとの解説から始まりました。
次に、ストレスに対して一番危ない人は、ストレスに気が付かない人であり、実はこの一番

第15回あくしゅフォーラム 開催報告



海原 純子氏

危ない人は、自分らしさを見つけていく人に通じることです。
では、どうやって自分らしさを見つけていくか。そのヒントとして、自分の才能(熱中して努力して、それが嫌じゃないこと)を見つけてくださいと教えて頂きました。
最後に、「ニッ」という表情をすくと明るくなるので、「ニッ」と笑って終わりにしましょうと、最後まで笑顔での講演でした。

開業して60年、子どもの命を見守る女性医師

「私なんてたいしたことないのよ」と、「ニコニコと笑う女性。相武台前駅そばの三晃診療所の矢部昭子先生です。
日本人女性の平均寿命を過ぎた今も、現役で乳幼児からご年配の方を診察しています。慈悲深い父(成光学園創設者)と、学問が大事だと考える母に大切に育てられ、戦争で男性が戦地に行く中、生き抜くために、医師の道を選んだそうです。
「男は医者、女は看護婦」というイメージがあった時代に女医として差別はなかったのか?という質問に「全然ないわよ。だってすごく勉強したの」とさらさらと話すその姿には、男女の差ではなく、努力を重ね、レベルアップしてきたプライドが感じられました。しかし、当時、伝染病が多く、忙しい毎日でしたが、女医は当直が認められない時代で、日本脳炎の重症の子どもが翌朝亡くなっていた時が一番辛かったそうです。
診察中、母親に対して、「あなたの育て方が悪いんじゃない?」とハッキリ言うことがあるそうです。母親はびびりしませんが、「と尋ねたら「私だから大丈夫よ」とさすがの貫録でした。最近、子どもの具合が悪くなると安易にスマホで調べる母親に対して、診察の時に我が子を見ながら真剣に問診に答えている父親が多くなり、しっかり育児をしているイクメンが増えています。」



矢部 昭子先生

メンが増えたと感じるそうです。3歳までは子どもとしっかり向き合っていた子が親となり、我が子連れでくるという繋がりがある限り、仕事は続けると話す先生。これが病気が知らずの先生の原動力でしょうか。
これまで、先生に勲章の話は何回もあったそうですが、お断りしてきたとのこと。しかし、勲章を辞退されている先生の胸には座間の子どもの命が、輝いている気がしました。

情報誌「あくしゅ」のバックナンバーはこちらから! (PDFでご覧になれます)
様々な相談・支援窓口の紹介「あくしゅインフォメーション」はこちらから!



※QRコードが使用できない方は、座間市 男女共同参画 検索 で、検索して下さい。

座間の キラキラひと

最近、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉が身近なってきました。
そこで今号は、市内のお店や農家が仕事と生活の調和をどのように取られているかお聞きしました。座間市商工会・JAさがみに協力を頂き、3業種・3組の方々にインタビューしました（項目は左記のとおり）。

～インタビュー項目～



- ①今のお仕事を始めたきっかけは何ですか？
- ②ご夫婦で（ご家族で）お仕事を始めるに当たってのエピソードなどを教えてください。
- ③職場と家事や育児などでの役割分担と時間配分について教えてください。
- ④③での役割分担が決まった経緯を教えてください。
- ⑤ご夫婦で（ご家族で）同じ仕事をされている中で良いこと、悪いことはありますか？
- ⑥仕事と家庭での将来の目標（次のビジョン）を教えてください。
- ⑦最後に男女共同参画についてどのように思うか教えてください。

No. 1

飲食業（吉瀬さん夫妻）

家族構成：夫、妻、子、父、母
店名：オステリアジジ
(Osteria GIGI)

①お客様の笑顔と直接ふれあうことの出来る仕事を考え、食に興味があったこともあり、飲食店に携わろうと思いを、始めました。
②夫は二十歳の頃からずっと飲食の仕事をしてきました。いつか地元座間で自分の店を持ちたいと考えていたため、現在の物件を見つけた時に思い切って出店を決意しました。当初、妻は軌道に乗るまでの手伝いをすると考えていましたが、お客様と直接接することの出来るこの仕事に魅力を感じ、現在のように二人で仕事をすることを決めました。

③二人とも子どもに合わせて6時30分に起床し、学校に送り出した後は畑に野菜を採りに行き、9時30分頃から開店準備のため、お互いホールとキッチン業務に入ります。16時頃に子どもの様子を見るため、どちらかが自宅に戻り、18時頃からディナータイムの営業を始めます。特にきっちり決めた分担はなく、状況により臨機応変に対応しています。

④③と重複しますが、職場ではキッ

チンはシエフである夫が、ホールは必然的に妻の担当になりました。家庭では明確な決まりはありません。
⑤身内であるがゆえ、意見を出し合いやすい反面、遠慮がないので激しく対立することもありますが、良くも悪くもオープンにやっています。



(吉瀬さん夫妻)

⑥お店はしっかりと地に足を付けて歩んでいきたいと考えています。家庭では、現在仕事中は、子どもの世話を父母にお願いしているので、スタッフを増やし、妻が家事・育児をする時間を増やしていきたいです。

⑦自分がやると決めた仕事を一生懸

命行つことに男女の差は必要ないと考えますので、一人の人間として責任を全う出来る社会へとシフトしていくことは非常によいと思います。

No. 2

小売業（大森さん夫妻）

家族構成：夫、妻
店名：コーヒーノート

①エンジニアとして会社勤務をしていた頃、コーヒーに興味を持ち、会社を辞めて6年間コーヒー店にて修行しました。自分で材料を選び、それらを加工し直接お客様に販売する仕事に就きたいと思いました。

②2003年にコーヒーノートを開業し約10年間は一人でお店を切り盛りしていました（妻は店の事務を担当）。「ザマオーレ」などの商品開発をきっかけに、お客様にもっとコーヒーノートのことや商品のことを知ってもらい、より楽しんで頂ける店を目指そうと話し合い、夫婦二人体制の営業になりました。

③通常は夫が開店準備、午前中のお店の切り盛り、妻は午前中、自宅にて家事とお店の事務、午後は店に帰る。閉店時は二人で片付けをして帰宅します。

ラッピングを工夫しています。性別に関係なく自分達が得意とするもので、今以上に農業を盛り上げていってほしいと思います。



(JAさがみ 和田さん 大矢さん)



(大森さん夫妻)

④二人で仕事を始めてから自然にその様になりました。無理、ムダはないと思います。
⑤二人でお店づくり（企画、運営）しているのと、とことん意見を言い合ったり、夢や目標を語り合ったり出来ることはとても幸せだと思います。お店の企画、新商品の開発、日々のお店の切り盛りなど、二人で補い合っており、実現させていくことばかりなので、楽しんで働いています。

⑥仕事・家庭の区別がなく、どこにいてもどんな時も、「未永く、コーヒーノートを続けて行くこと」を考えています。いつまでも、挑戦する意欲を持ち続けたいです。

No. 3

農業（大矢 恵介さん）

家族構成：夫、妻、子3人、父、母
主な作物：お米、キャベツ、トウモロコシ等

⑦夫婦で経営していますが、それぞれが担っている仕事も違いがありますし、得手不得手もあります。互いに補い合い、仕事を続けて行くことで、男女共同参画のひとつのモデルとして、地域の皆様に捉えて頂ければ良いな、と考えています。

①実家が農業を営んでいたため、長男が生まれた時にサラリーマンを辞めて継ぐことにしました。

②いつかは農業を継ぐことが分かっていたので、妻からは何も言われませんでした。昔は農家に嫁いだら、農家の嫁として農業するというのが当たり前でした。しかし、今はそういう時代ではなく、私のところも子どもが3人いるので、妻には家事だけを任せていますが、その様な農家さんも増えてきており、祖父・祖母世代の方々も、何の問題もなく、それを受け入れてくれます。

③家庭ではお風呂掃除や子どもの靴洗、布団敷き、子どもの歯磨き、

ゴミ出しなど、手伝えることはなるべく手伝っています。
仕事は7時頃に直売所に野菜を出荷に行きます。トウモロコシの時期になると午前2時に起きて作業をしています。職場では、米は父で、野菜は自分というように分業で行っています。

④靴洗いや洗濯などもそうですが、妻が妊娠している時に辛そうだったので手伝いましたが、それがいつの間にか自分の役割になっていました。
⑤忙しい時に父とお互いに手伝うことが出来ます。出荷調整が難しく、連休が取りづらいため、家族には迷惑をかけています。

⑥子ども達のために農家としてのルールを敷いておいて、将来子ども達にやりたいと言った時に託せるようにしてあげたいです。父親にも出来る限り長く続けてもらいたいです。

⑦良いことだと思えます。

また、今回のインタビューに同席頂いたJAさがみ職員の和田さんにも、男女共同参画についてどのようなように思うか尋ねたところ、次のような回答を頂きました。

寒川の直売所では、出荷に来る人は女性が多く、男性はどさつと置いていくだけです。女性は自分たちのセンスや感性を活かし、ポップや

今回は、自営業されている方々をご紹介させて頂きました。インタビューを受けて頂いた方々の仕事や生活に対する思いや、それぞれの状況なども知って頂くことが出来たのではないのでしょうか？

それぞれの事業形態の違いと、ご本人の考え方によって家庭への関わり方は様々でした。しかし、選んだ仕事への情熱は一樣に熱く感じられました。

ご協力頂いたみなさまに改めて感謝申し上げます。